

PRESTIGE LINE
YGD

歴史を創り続けるワールド・スタンダード。

現在主流となっているベース・ギターの原点として存在しながら、今なお頂点で響き続ける“BB”。ソリッド・モデルのハイクラス・スペックとなっている幾つもの手法は、もはやBBにおいては熟成を重ねた基本仕様である。5弦モデル、レフトハンド・モデルを含め、全4機種。至高のウッディートーンは、ベーシストの誰もが抱く理想の響き。



BB-5000
¥200,000 (税抜き)
BODY: Alder + Maple + Mahogany
NECK: Maple + Mahogany (Through Neck)
FINGERBOARD: Striped Ebony 21F
BRIDGE: BB-VG
PICKUPS: SASB-V, SABB-V
CONTROLS: 1 Volume, 1 Tone, 3P-Selector SW
SCALE: 860mm
HARDWARE: Gold
FINISH: BL



BB-3000
¥180,000 (税抜き)
BODY: Alder + Maple + Mahogany
NECK: Maple + Mahogany (Through Neck)
FINGERBOARD: Striped Ebony 21F
BRIDGE: BB-II G
PICKUPS: SASB-MK II, SABB-MK II
CONTROLS: 1 Volume, 1 Tone, 3P-Selector SW
SCALE: 860mm
HARDWARE: Gold
FINISH: BM, WR



BB-X (BB10)
¥100,000 (税抜き)
BODY: Alder
NECK: Maple (Bolt on)
FINGERBOARD: Rosewood 21F
BRIDGE: BB-II G
PICKUPS: SASB-MK II, SABB-MK II
CONTROLS: 2 Volume, 1 Tone
SCALE: 860mm
HARDWARE: Gold
FINISH: BL, WR

■ LEFT HAND MODEL
BB-XL (BB10L)
¥118,000 (税抜き)
FINISH: BL, WR
※ 27ページ参照

COLOR

BL (ブラック) BM (ブラックメタリック) WR (ワインレッド)

■ PLAYABILITY: 後のソリッド・ベースに大きな影響を与えた大団なカックウエイが、プレイアビリティのポイント。現在においてはオーソドックスなスタイルながら、その切り込みの無敵のなま、バランスの見事さは、無敵のステージ、レコーディングを経験してきた実績が証明する。プロフェッショナルが特にシビアになるチューニングは、ダイキャスト製トルク調整機能付きペグによって対応(5000、X、XL)、スムーズで確実な操作によりチューニングを完璧に維持し、ベスト・プレイを引き出す。■ SOUND: 生音の鳴り、木の響きにおいて群を抜いている。フロント・スプリット、リア・コイル・マグネットのP&Lタイプ・ピックアップから生み出される豊かな音響性は、時代に左右されない安定したグループを放ち続けている。5000、3000のアルダー・メイプル、マホガニーの層構造ボディは、ベースに求められるウッディートーンを極めた功績により評価が高い。■ HARDWARE: シーンに多弦ベースの可能性を提案し、そのスタイルを定着させた5弦モデル5000は、金属パーツのクオリティ特徴のひとつとなっている。4弦モデルを遙かに越えるストリングス・テンションを絶対的安定性で支えるため、ブリッジはまったく専用開発。5弦すべての弦振動を余すところ無くボディへと伝達するクオリティも同時に実現している。ペダル・フラー・ボタン・ペグの採用は、楽器全体との質量バランスを考慮した結果、構成部品ひとつひとつのクオリティの高さがBB5弦特有の卓越したサウンドを造っている。

BB

このページの商品の価格は全てメーカー希望小売価格(税抜き価格)です。

PRESTIGE LINE
YGD

ロック・インストルメンツの神髄。

エレクティック・ギターには、二つのあり方が存在するとヤマハは考える。一つは、時代の趨勢に敏感に反応し、マイナー・チェンジ、フルモデル・チェンジによって新技術を投入しながら最先端にその地位を求めるギター。そしてもう一つは、楽器の本質に求め、普遍的方法論を徹底的に磨き上げ、クオリティの熟成度を語るギター。ヤマハは、後者のギター・メソッドを独自のワールドワイド・ネットワークにより、完全にプロダクト・ライン化。YGDモデルとしてシーンに示す。アメリカでデザインされ、アメリカン・パーツを用い、日本でビルドアップされるオーダーメイド・パシフィカは、その進化過程における成果の一つである。YGDモデル。それは、最上質のポテンシャルを誇るエレクティック・ギターのプレステージ・ライン。

世界を圧倒する音響構造。YGDコンストラクション

ヤマハが蓄積している無数のノウハウを、開発機種と最高の状態でマッチングするように全体構築することがテーマとなっている。すでに十分な評価を得ているヤマハ・オリジナル・パーツにおいても、それぞれのモデル・コンセプトとのパーフェクトな融合のために、さらなる進化を求めてリファインされることも少なくない。DiMarzio、Warmothなど世界的に著名な専門マニファクチュアによって造られたハードウェア、ウッドパーツにおいても、原則的にチューニングを施している。それら幾つかの優秀なハードウェアは、しかし開発時点においてはYGDモデルを想定していないというのがその理由。各マニファクチュアの技術の高さを評価しながらも、ヤマハが、そのハードウェアを組み上げるためには、当然、搭載機種との相性を最優先する必要がある。ヤマハ・クラフツマンの手を通して、それらハードウェアはYGDクオリティに生まれ変わる。

普遍性を極めた音世界。YGDサウンド

ヤマハのリサーチ&ディベロップメント・セクションである「YAMAHA R&D TOKYO」に着信するワールドワイドなシーンの動向、そしてプロとのレクションが「音造りのベースとなっている。すべての情報は、「Central Guitar Design Division」にフィードバックされた後、さらに磨かれ、コンセプトとして定着。具体化作業へと進行する。Designed in U.S.A. モデルにおいては、アメリカ開発セクション「YGD U.S.A.」を訪れるアーティストとのミーティング結果が、サウンドの核となる。

演奏性能の理想的基準。YGDプレイアビリティ

YGDモデルにおいて、プレイアビリティという概念は一つしか存在しない。「いかなる要素もプレイの妨げにならないこと」。しかし、ジョイント方式、ボディ形状によってその実現手法は多岐にわたる。また、避けられないと信じられていた、伝統的でありながら、演奏性に悪影響を与えるファクターは、まったく姿を変えることになった。クラフツマンの手腕が問われ、感覚的要因が大きいパフォーマンスにも関わらず、YGDモデルの演奏性能は、数多くのプロフェッショナルから絶賛されている。

ヤマハ・プレステージライン YGD